

比1億5200万円の削減

万円決まる

の特別委員会を設置して審議
予算を可決しました。



大木中学校改築のようす

歳 出

科 目	予算額	前年対比
民 生 費	12億8421万6千円	2.2%
衛 生 費	5億9705万2千円	△20.9%
教 育 費	5億3633万4千円	54.7%
総 務 費	4億9298万8千円	△2.8%
借入金償還額	4億4714万6千円	5.5%
農林水産業費	3億8471万9千円	△32.5%
土 木 費	1億7417万2千円	△6.6%
そ の 他	3億3137万3千円	△6.2%
合 計	42億4800万 円	△3.5%

(注) △はマイナス

ポ イ ン ト

- ①人件費4717万円の減
議員定数2名減、町長をはじめ三役の給料、期末手当のカット、職員数の減などで人件費を抑制。人件費は9億7807万円を見込む。
- ②「くるるん」稼働によりゴミ処理料などが減
可燃ゴミ処理委託料766万円、し尿海洋投棄業務委託料3804万円を削減。
- ③大木中学校の整備を推進
大規模改修工事に1億1358万円、技術・家庭科室の増改築工事に9866万円を投入。
- ④補助金654万円の減
補助金等検討委員会の提言を受け、34件、654万円の補助金を削減。

委員会の

審査報告（概要）

第1 予算審査特別委員会

（総務常任委員会）

■補助金を654万円削減しているが、今後も報酬や負担金、消耗品費や施設の管理委託料などを見直し、積極的に行財政改革を進められたい。

■コンピュータ機器を再リースして、情報処理費を2413万円削減しているが、耐用年数を考えると、平成21年度には機器をリプレースしなければならぬ。慎重に検討されたい。

■広報誌の一本化を再度検討されたい。

■町税は最大の自主財源であることから、引き続き滞納対策に努められたい。

■平成21年度には14億3800万円の歳入不足が見込まれる。自主財源の確保が課題である。そのためにも、きちんと土地利用計画を策定し、無作為開発を防止する必要がある。

第2 予算審査特別委員会

（文教厚生常任委員会）

■人件費に充てる社会福祉協議会補助金は、前年比45万円の減額、また、シルバー人材センター運営事業費負担金も、前年比100万円を削減している。問題が生じない